

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、黒瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた昭和60年7月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



- 黒瀬川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】下蔵橋の架替によりボトルネック部を解消する。
大谷ダムにおける事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。
 - 【中期】流下能力不足解消のため、黒瀬川の整備を実施する。
 - 【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	黒瀬川の整備(河床掘削、堤防整備、橋梁架替等)	富山県	前沢橋等の架替によりボトルネック部を解消 下蔵橋の架替によりボトルネック部を解消		
	大谷ダムにおける事前放流の実施	富山県			
	森林整備・治山対策	富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	黒部市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知	富山県 黒部市			
	水位計・監視カメラの活用	富山県	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		

【事業費(R4年度以降の残事業費)】

■河川対策
全体事業費 20.3億円※
黒瀬川の整備等

※県の河川整備計画の残事業費を記載



(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(堤防整備 護岸工)		
事業・施策の名称	河川改修(堤防整備 護岸工)		
実施場所	黒瀬川		

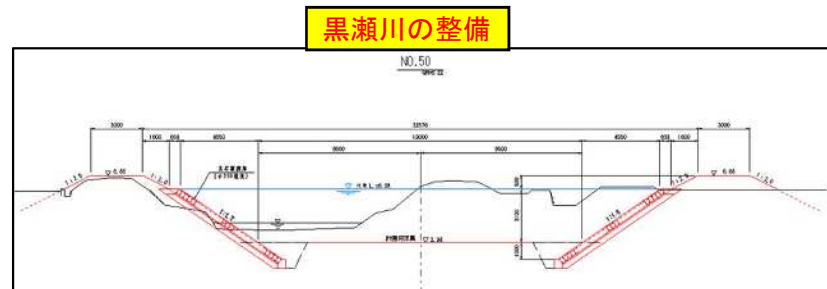
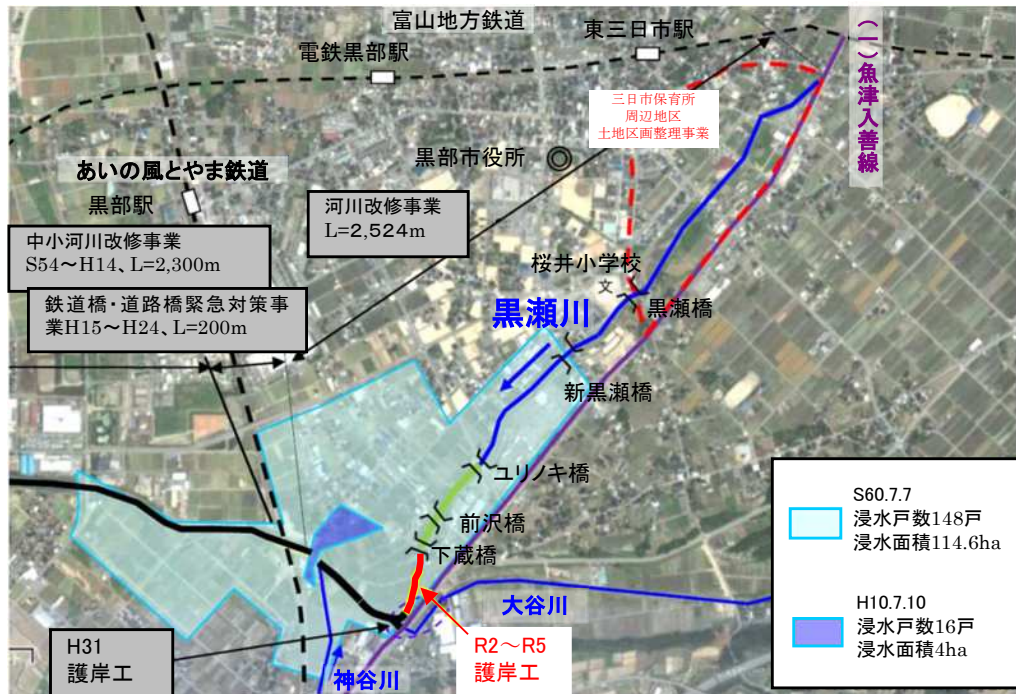
【対策概要】

黒瀬川は、黒部市南部の丘陵地から富山湾へ注ぐ河川であるが、狭く蛇行していることから、たびたび浸水被害が発生している。昭和54年より事業に着手し、平成15年度にはボトルネックとなっていたJR橋及び県道橋の架替をすすめ、現在も護岸工の整備を鋭意進めている。

【事業内容】

事業期間 : 昭和54年～

内容 : 計画延長5,024m(河床掘削、堤防整備(護岸工)、橋梁架替、用地補償)



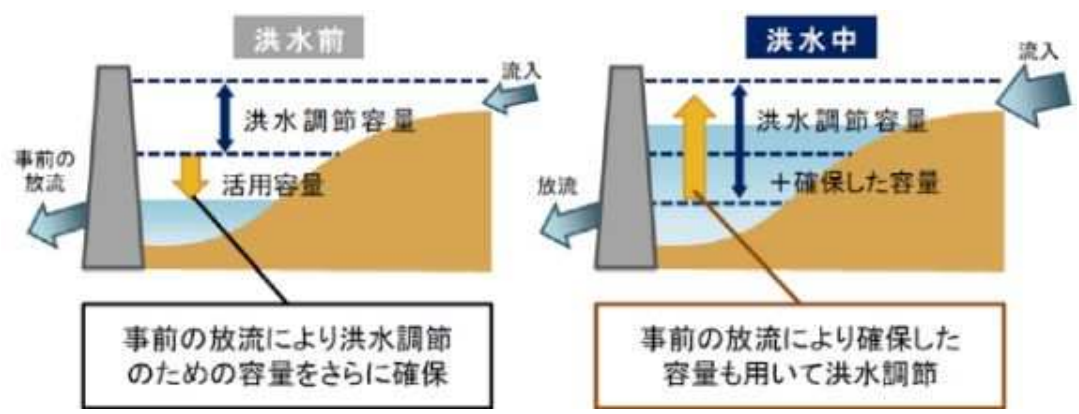
(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	大谷ダムにおける事前放流(実施)		
事業・施策の名称	大谷ダムにおける事前放流(実施)		
実施場所	黒部市 大谷ダム		

【対策概要】
大谷ダムにおける事前放流等の実施等



緊急時において既存ダムの利水容量を洪水調節に最大限活用し、ダム下流の浸水被害の軽減及び避難時間をかせぐ



大谷ダムは、大谷川総合開発事業の一環として、黒瀬川水系大谷川の黒部市吉城寺地先に、洪水調節・既得取水の安定化及び河川環境の保全・消流雪用水の確保を目的とする多目的ダムとして平成10年に完成しました。

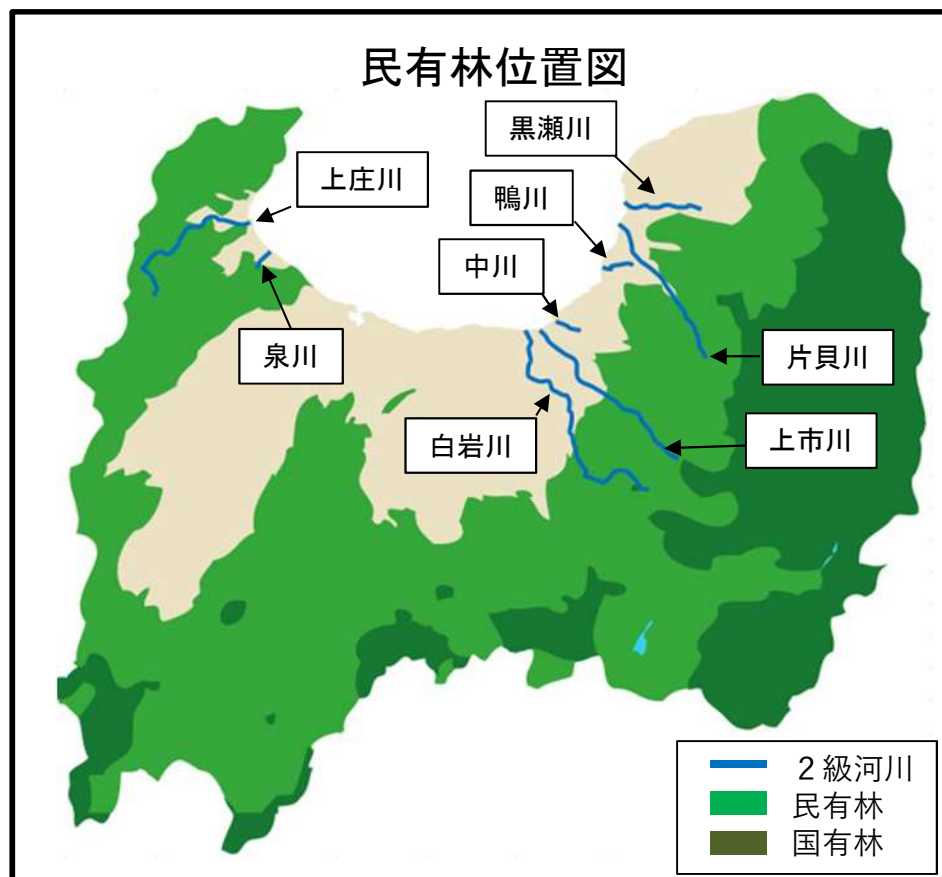
目的	F,N,Es	ダム型式	ゾーン型アースフィルダム
集水面積	1.5平方キロメートル	湛水面積	0.036平方キロメートル
ダム高	29.5m	総貯水容量	325千立方メートル

(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	黒瀬川流域		

【対策概要】

山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備(間伐等)や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



森林の整備

間伐

(事例)魚津市東城地内

治山施設の設置

流木捕捉式治山ダム

(事例)南砺市大鋸屋地内

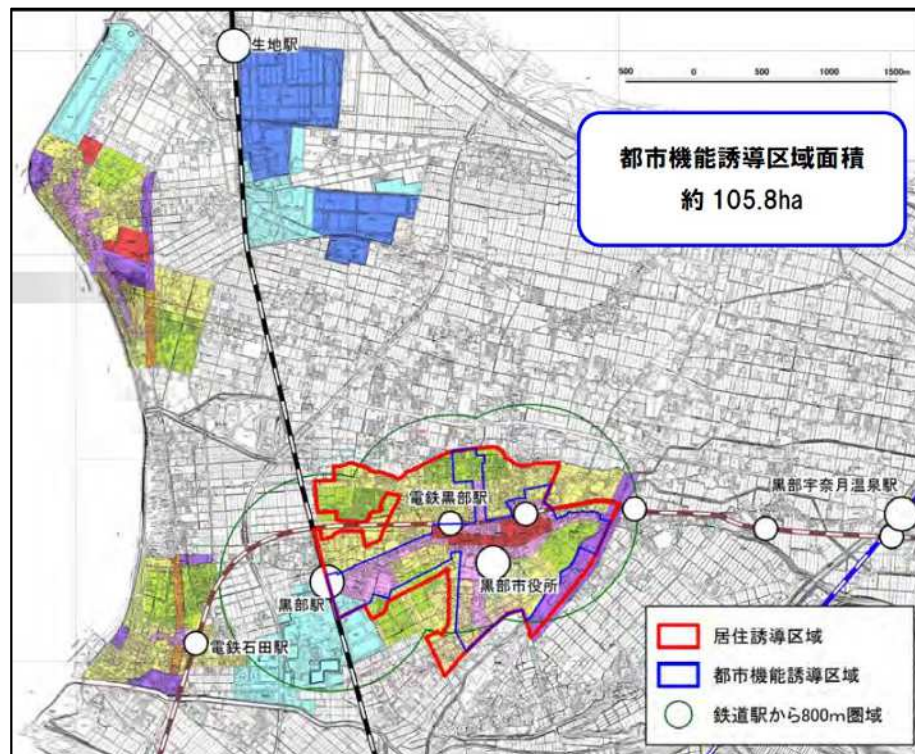


(様式:取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	黒瀬川流域		

【対策概要】

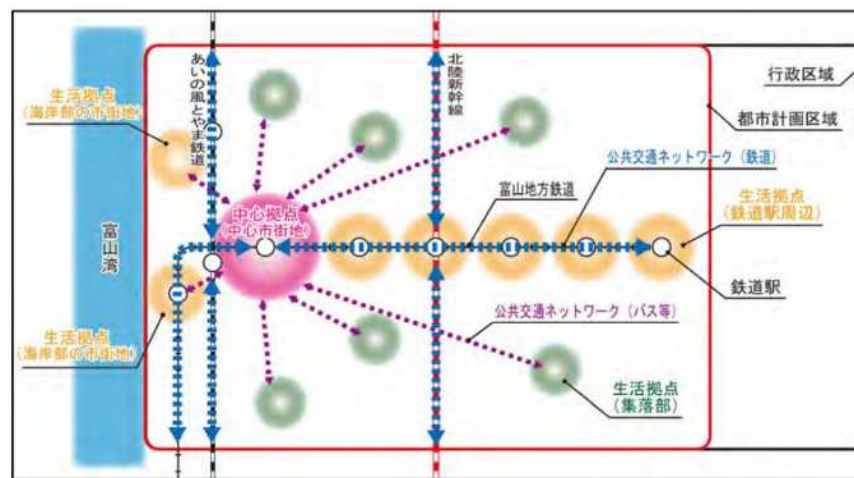
「安全なまちづくり」に向け、立地適正化計画への防災指針の記載と取組みなどを行う



『コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり』

■立地適正化の基本方針

本市特有のコンパクトで公共交通基盤が整っている都市構造を今後も維持するとともに、機能低下が進行する中心市街地の再興を促すために、以下に示す基本方針に基づき、まちづくりを推進します。



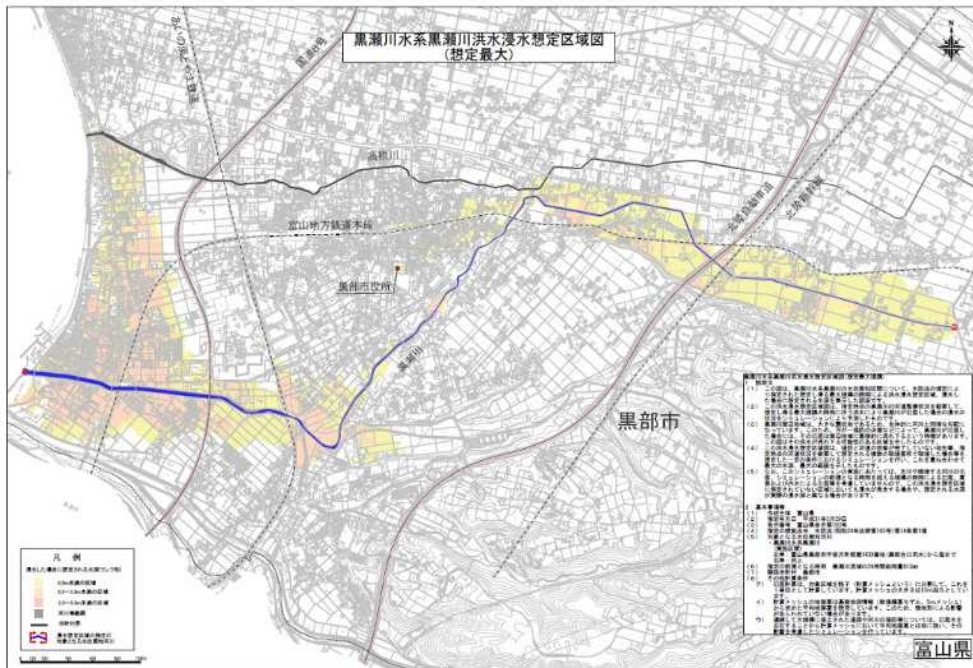
まちづくりの方針のイメージ図

(様式:取組事例)

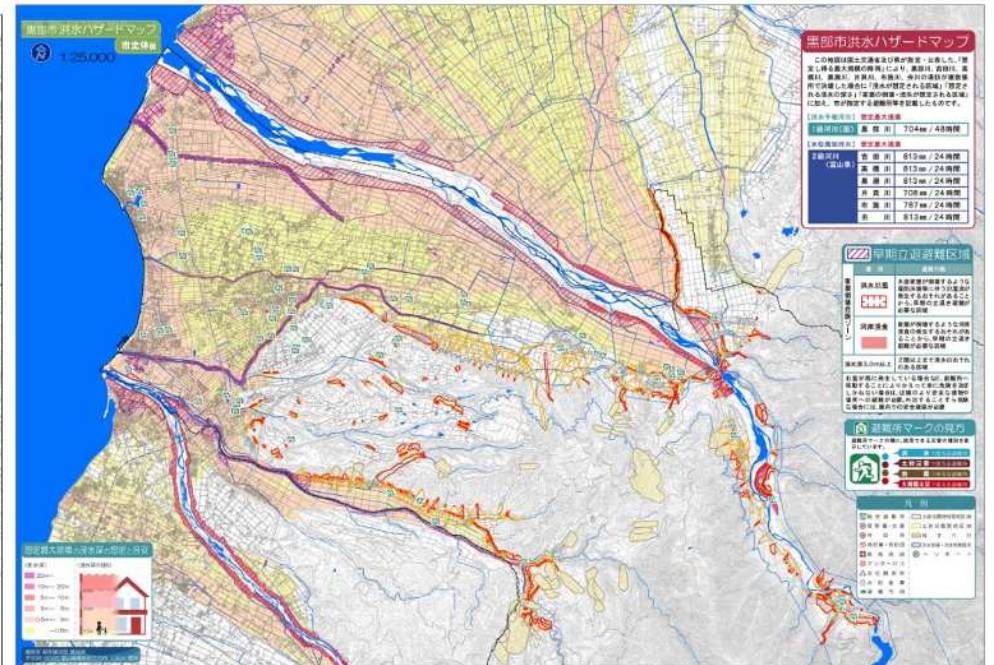
区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、黒部市
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	黒瀬川流域		

令和元年6月14日に、県内全ての水位周知河川(41河川)について、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。



黒瀬川浸水想定図(想定最大規模)



黒部市洪水ハザードマップ(想定最大規模)

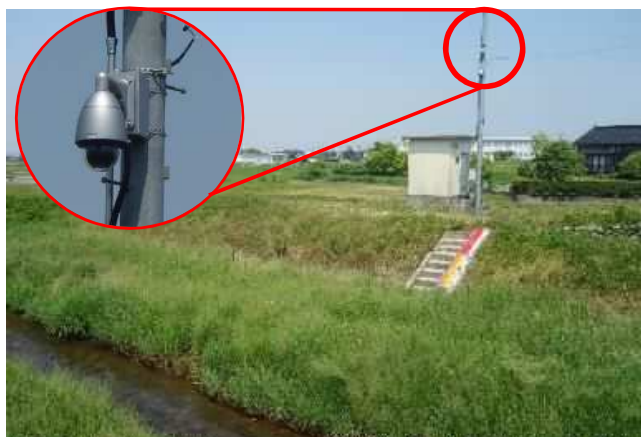
(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、黒瀬川の水位観測所等1箇所(R4.3月末時点、県内設置箇所数105箇所のうち)において、河川監視カメラを設置し、カメラ画像をインターネットを通じて一般公開するもの。また、R4年3月にホームページをリニューアルし、県管理の水位周知河川等の水位状況を地図及び一覧で見られる等、水防配備関係者にも的確な情報を得られるようにした。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～
- ・ 公開の方法:画像情報(静止画:5分更新)と水位周知河川等の水位情報等をホームページで提供
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」
(<http://kawa.pref.toyama.jp/camera>) 等



河川監視カメラ設置状況



外部公開サイト(富山県河川海岸カメラ・水位情報)

河川名	観測所名	現在水位	観測高	水位差	水位差率	水位差率	水位差率
黒瀬川	黒瀬川	0.66m	→	0.70 m	1.00 m	1.00m	1.00%
黒瀬川	黒瀬川	0.34m	→	1.00 m	1.50 m	1.50m	2.50%
黒瀬川	黒瀬川	0.22m	→	1.50 m	2.00 m	2.50m	4.00%
黒瀬川	黒瀬川	0.11m	→	0.50 m	0.70 m	0.70m	0.50%
黒瀬川	黒瀬川	0.11m	→	0.50 m	0.70 m	0.70m	1.00%
黒瀬川	黒瀬川	0.00m	→	1.70 m	1.40 m	1.60m	2.10%
黒瀬川	黒瀬川	0.00m	→	0.70 m	1.00 m	1.20m	1.80%
黒瀬川	黒瀬川	0.37m	→	0.60 m	1.50 m	1.30m	2.80%
黒瀬川	黒瀬川	0.55m	→	1.50 m	1.90 m	2.70m	2.70%

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、黒部市
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象:市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援するもの。

【取組実績】

- ・ 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・ 令和2年度：魚津市にて講習会
- ・ 令和3年度：富山市にて講習会
- ・ 令和4年度：富山市にて講習会
- ・ 県内の要配慮者利用施設1617施設中1269施設（78.5%）で計画を作成済み（R4.09.30時点）



講習会の様子 R4 富山市

様式 1

4. 取組経緯

【取組内容】

実施内容	実施時期	実施場所	実施者
1. 要配慮者利用施設（1617施設）			
2. 講習会開催			
3. 避難確保計画の作成			

様式 2

4. 取組経緯

【取組内容】

実施内容	実施時期	実施場所	実施者
1. 要配慮者利用施設（1617施設）			
2. 講習会開催			
3. 避難確保計画の作成			

簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式:取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部市、住民
メニュー名	避難訓練への住民参加促進及び住民参加		
事業・施策の名称	自主防災組織による避難訓練の実施		
実施場所	地区自主防災組織(2地区)		

自主防災組織の結成以来、あらゆる災害を想定した訓練を実施してきた中、R2年度は河川の氾濫水位に達し、避難勧告が発令されたことを想定した避難所開設及び住民避難訓練を実施し、さらなる防災力の向上を図るもの。

【取組実績】

- ・実施地区：大布施、石田地区自主防災連絡協議会
- ・実施日：令和2年6月27日（土）、10月3日（土）
- ・場 所：大布施地区各町内公民館、石田公民館
- ・内 容：避難所開設準備訓練、住民避難訓練、炊き出し訓練、防災講座



大布施地区訓練状況

石田地区訓練状況

(様式:取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部市、住民
メニュー名	避難訓練への住民参加促進及び住民参加		
事業・施策の名称	自主防災組織によるHUG訓練の実施		
実施場所	地区自主防災組織		

自主防災組織の結成以来、あらゆる災害を想定した訓練を実施してきた中、令和3年度は風水害時の避難所開設から運営までを研修を通じて確認し、さらなる災害対応力の向上を目的としたもの。

【取組実績】

- ・ 実施地区：若栗自主防災連合会
- ・ 実施日：令和3年11月27日（土）
- ・ 場 所：若栗公民館
- ・ 内 容：HUG訓練



(様式:取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部市、住民
メニュー名	避難訓練への住民参加促進及び住民参加		
事業・施策の名称	自主防災組織によるHUG訓練の実施		
実施場所	地区自主防災組織		

自主防災組織の結成以来、あらゆる災害を想定した訓練を実施してきた中、令和4年度は水害時の避難所開設から運営までを研修を通じて確認し、さらなる災害対応力の向上を目的としたもの。

【取組実績】

- ・実施地区：石田自主防災連合会
- ・実施日：令和4年10月23日（日）
- ・場 所：石田公民館
- ・内 容：HUG訓練

